

このたびは、「DVD 怒りをうたえ」関西上映会のご開催、おめでとうございます。まずは、とくに、皆さんと話す機会を与えてくれた岩田吾郎様に感謝します。

### 3・17「DVD 怒りをうたえ」関西上映会へのメッセージ 李篤勝(いとくしょう)

私は中国の日本労働運動・新左翼運動研究者の李篤勝です。私は今 20 代で、赤色革命の 1960 年代を経験したことがありません。しかし、1960 年代の歴史を調べてみて、いろいろと思うところがあります。ご列席の革命の先駆者たちに深く敬意を表します。私は皆様の勇気と革命的な理想に敬仰(けいぎょう)の念を抱いています。

そして今、中国の左派の若者たちは日本の新左翼闘争の経験を高く評価し、特に赤軍派や中核派などを高く評価しています。例えば、重信房子が出所したとき、SNS では多くの中国人が重信に賛辞を送りました。桐島聡が亡くなったとき、多くの中国人から「同志」とも呼ばれていたこともあります。

しかし、新左翼の歴史をよく知らない人も多く、新左翼と日本共産党を混同している人さえいます。

そして、私は、新左翼運動の研究者として、日本の新左翼闘争の経験と教訓を中国の若者たちに伝えることが自分の義務だと感じています。だから、日本の新左翼運動の歴史を中国の左派に紹介する記事もたくさん書いてきました。

次に、中国における新左翼の歴史を簡単に説明させていただきます。

1978 年、中国は改革開放を行います。それ以来、中国がもう資本主義化したという意見と批判もあります。彼らは、中国が毛沢東時代の政治・経済体制に戻ることを望んでいます。それは張宏良(ちょうこうりょう)、司馬南(しばなん)、郭松民(かくしょうみん)に代表される中国の「旧左翼」です。その支持者のほとんどは、引退した毛沢東時代の幹部たちでした。彼らを「既成左翼」とは訳していない理由は、中国において既成左翼とは、実際に中国きょうさんとうの新官僚集団を意味しています。中国で、この 2 つはまったく異なるものです。

その後、西欧マルクス主義思想が中国に入ってくると、一部の学者は毛沢東主義ではなく西欧マルクス主義を使って改革開放を批判するようになりました。彼らは中国の「新左翼」と呼ばれています。その代表が汪暉(おうこん)や崔之元(さいしげん)でした。あの時の中国新左翼は非常に理論的でした。汪暉は、元バンド理論家の柄谷行人とも魅力的な会話を交わしたことがあります。

1990 年代、中国経済の悪化と国際紛争の激化に伴い、中国の社会的対立はかつてないほど激化しました。

1990 年代から 2000 年代にかけて、中国の新老左派は新自由主義派と激しい戦いを繰り広げました。

しかし、中国が 2000 年代に急速な発展を遂げると、新自由主義派は次第に弱体化し、新旧左翼も理論的危機に直面した。新旧左翼は、中国「既成左派」の功績を認めざるを得ない。

こうした状況の中で、中国の新旧左翼はともに急速に保守化しつつある。2008 年から 2012 年にかけて、もともと改革開放に反対していた新旧左翼の多くが、中国のいわゆる「経済の奇跡」を称賛するようになりました。旧左翼は次第にナショナリズム/民族主義的になり、階級闘争に言及しなくなった、やがて「既成左翼」きょうさんとう官僚の支持者となりました。そして新左翼は政治的实践から離れ、理論の世界に戻りました。

その後、きょうさんとう官僚に支えられたこの旧左翼的なナショナリズムのイデオロギーは、次第に中国の支配的なイデオロギーとなっていました。中国の下層階級の間でも大きな影響力を持っています。

しかし、中国経済が不振に陥った 2018 年頃から、旧左翼のナショナリズムと愛国主義に対する反発が現れました。2018 年で、深圳の労働者たちは労働条件を改善し、非きょうさんとう労働組合を結成するた

めに闘争を繰り広げました。この闘争は、中山大学、北京大学マルクス主義学会などの大学生たちによって支援されました。しかし、官製労働組合や地元政府は企業側に味方し、多くの労働者や学生を逮捕しました。

そのような状況下で、中国の「再造された新左翼」・「二代目新左翼」は誕生したのであります。「再造された新左翼」の主体は若い学生や労働者である。地理的分布は北京、上海、広州などの大都市に集中しています。再造された新左翼の主な思想は毛沢東主義に回帰したが、毛沢東主義の階級闘争の要素をより強調しています。彼らの理論的源泉は毛沢東自身からだけでなく、インド共産党（毛沢東主義）、フィリピン共産党、ペルー共産党（シャイニング・パス）からも得られています。これらの毛派政党の著作は、中国の新左翼グループの間で密かに流通しています。中国の毛沢東主義グループも、ドイツのマルクス・レーニン主義党が設立した国際組織である革命党・組織国際協調（ICOR）に参加しています。毛主義に加え、トロツキズムとアナキズムも小規模ながら広がり始めました。

2020年、中国はコロナへの対応に成功し、中国きょうさんとうの支持率は最高潮に達しました。

しかし、2021年に入ってから、反対派の声は徐々に拡大していました。封鎖が強化されるにつれ、2022年後半には中国で大規模な学生抗議運動が勃発しました。この運動は、実際にはリベラル派と再造された新左翼が共同で主導したものでした。結局、中国は封鎖を放棄しました。

それは、20代の私がここまで経験した唯一の革命です。学生たちの活動を見て、私はすぐに1960年代の日本の新左翼運動を思い浮かべました。中国では、1989年と2019年の革命に関する情報は厳しく遮断されています。しかし、海外の革命運動はまだオープンに語られることができます。従って、日本の新左翼を研究することが、私たちにとって最も安全な方法である。そして短期的には、日本の新左翼の経験が、私たちにとってはもう十分です。

ですから、私たちは先輩たちの経験を研究し続けます。岩田吾郎のリベラシオン社のおかげで、バンドに関する多くの重要な情報にアクセスできるようになりました。皆様のご努力に深く敬意を表します。

日本共産主義青年同盟の初代委員長である川合義虎が言ったように、未来は青年のものである。我々は先駆者たちの革命の旗を必ず受け継いでいきます。

革命万歳！

#### **\*川合義虎（川江善虎）1902年—1923年（享年20歳）**

1902年7月18日生まれ。長野県上田市出身。小学校を終えた後、日立鉱山の旋盤工となる。

1920年同志とともに上京して暁民会に参加。同年、日本社会主義同盟創立大会で検挙され入獄。

1922年、日本共産党（第一次）の創立とともに入党し、渡辺政之輔らと南葛労働協会を結成、野田醤油労働争議など各地の労働争議に当たる。1923年4月5日、日本共産青年同盟（共青）の創立とともに委員長となる。9月4日亀戸署の中庭で近衛師団習志野騎兵第13連隊によって他の活動家らとともに銃剣で殺害された（「亀戸事件」）。遺体は近くの川原に遺棄・埋葬された。

つねに楽天的で「未来は青年のものである」といていた。（ウキペディア）